

# 学校だより しゅんいん

令和3年7月1日(木)  
第4号

## 相模丘中学校

### キャリア教育推進のため『自律する力』

#### ～「ベースを守った人」から学ぶ～

校長 水野澄雄

7月は、結果が表れる月です。通知表を受け取ります。中体連では試合の勝敗、コンクールでは受賞の結果が示されます。結果に喜んだり、悲しんだり、悔しがったりします。結果は、改善につなげたいものです。「自律する力」を身につけてほしいと思います。自律とは、「他からの支配や制約を受けることなく、自分自身で立てた規範に従い行動すること」です。結果が出たこの時期にとる行動として、ぴったりだとは思いませんか。



さて、表題の「ベースを守った人」とは、神奈川県野球連盟初代会長、山口久像さんのことです。横浜スタジアム球場の駐車場から玄関に入ると、左に事務室、右にこのブロンズ像が飾られています。横浜は、野球発祥の地と言われています。アメリカから野球というスポーツが輸入され、野球の人気は高まりました。そして、プロ野球が設立されるほどになりました。アメリカからスーパースター、ベーブルースやルーゲーリックが来日し、日本で試合を行うというイベントが開催されました。当時は、飛行機などありませんでしたから、選手たちは、船で何日も何時間もかけて横浜港にたどり着きました。そして、最初に試合を行ったのがこの横浜スタジアムでした。

その後日本は、戦争の時代に突入し、やがて敗戦。戦後、この球場はアメリカ軍に接收されて、野球場はなくなる予定だったと聞きました。ここでなんとか野球場を残そうと奔走したのが、山口久像さんです。そういう意味で「ベースを守った人」と言われるわけです。野球を通じて子どもたちの教育に手がけました。少年野球から大人の野球まで、あらゆる優勝旗には、神奈川県野球連盟 山口久像寄贈という刺繍が織り込まれていました。彼は何を目指し、何を求めて、走り回ったのでしょうか？「自律する力」に他ならないと感じます。現在の神奈川県野球連盟会長は、山口宏さんです。久像さんのお孫さんです。ジャイアンツ原監督が東海大相模高校時代サードを守っていたときのライトを守っていた選手です。意志は引き継がれています。

自律とは、まず目的と目標をはっきり定めることから始まります。「問題を解決する」行動コストより、「現状に我慢する」行動コストの方が楽だと判断する人もいます。改善のための行動を起こしましょう。そのためには、これを達成したいという強い意志が必要だと考えます。